

令和3年度

北島南小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 豊かに表現し、学び合う授業づくり
- 保護者との連携による家庭学習の充実

学力向上検討委員会構成

- | | | | |
|---------|-------|--------------|----|
| 学力向上推進員 | 委員 校長 | 教頭 | 校長 |
| | 研修主任 | 教務主任 | |
| | 1学年主任 | 3学年主任 | |
| | 4学年主任 | 5学年主任 | |
| | 6学年主任 | 特別支援コーディネーター | |

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていたり、与えられた課題にもまじめに取り組めたりできる児童が多い。 ●学級内に学力の差が見られ、定着していない児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を全ての児童が身に付けることができる。 ・身に付けた知識・技能を用いて、応用力を高めたり、他の学習や生活の場面において活用したりすることができる。	・朝のドリルタイムでは、基礎・基本、スキルアップタイムでは、応用力の習得を図る。 ・復習や振り返りを大切に授業づくりの実践と共有を行う。 ・身に付けた知識・技能を活用できる場面を設けたり、活用が見られた時には褒めたりする。	・引き続き朝のドリルタイムでは、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けられるようプリントや小テストなどを行う。その基盤を生かし、スキルアップタイムでは、応用力の習得を図る。	・基礎的・基本的な知識・技能は、8割程度の児童が身に付けることができた。 ・身に付けた知識・技能を用いて、応用力を高めたり、他の学習や生活の場面において活用したりすることには課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る時間を十分に確保する。 ・応用力の習得を図るために、多様な問題(学力テストに出題される読解力を必要とする問題)に取り組ませる。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○少人数の中で、自分の考えを伝えたり、事前に準備できる課題では、自己表現できる児童が多い。 ●自分の思いや考えを根拠や理由を挙げながら表現することに課題がある。	・目的に応じて、根拠や理由を明らかにして、自分の考えを伝えることができる。	・北島南小「授業のスタンダード」を使った話し合いを、早い時期から行い、継続して発言力を高めていく。 ・自分の思いや考えを「書く」場面を増やす。	・クラスの中で発表を聞き合う際には、根拠や理由を述べることを大切にする。 ・自分の思いや考えを書いた文を発表したり読み合ったりする。	・根拠や理由を明らかにして発言する力が高まってきた一方で、考えたり書いたりにはできないものの、積極的に自分の思いを伝えることができない児童もいる。	・話し合いを広げたり深めたりできるように、「授業のスタンダード」を継続して効果的に使う。ICTを有効に使い、思考ツールなどを使って、考えを共有しあう場面を多くつくる。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○朝の読書、宿題など決められた課題には、まじめに取り組む児童が多い。 ●家庭での読書、自主学習などの自分から課題を見つけ選択して取り組むことには、差が見られる。	・学び方を習得し、自分に必要な学習を選択して、進んで家庭での学習や読書に取り組むことができる。	・「家庭学習の手引き」の見直しを行い、自主学習のヒントを提示し、よりよい学習につなげる。 ・毎月23日の家庭読書の日を児童が楽しみにできるよう工夫し、家庭での読書活動を充実させる。	・家庭読書の日には、「読書を楽しむ」ことを宿題として、読書に親しむ楽しさを味わわせる。 ・学年間で学級文庫を入れ替え、新しい本との出会いを広げる。	・決められた課題を真面目に取り組むことはできるが、自分に必要な学習を選択して取り組むことは難しい児童もいる。 ・読書は「家庭読書の日」を推奨することで、進んで行う児童が増えた。	・学年の発達段階に応じた自主学習のヒントを提示したり、仕方を何度も指導したりして、意欲を向上させる。 ・児童が興味を持って読めるような本の紹介等を家庭と連携をとりながら行う。

令和3年度 学力向上ロードマップ

